

## 第5回新丸山ダム水源地域協議会 議事概要

○日時：令和6年2月29日（木）14：00～15：30

○場所：八百津町役場 防災センター2階 会議室

○出席者：瑞浪市長 水野光二、恵那市長 小坂喬峰、八百津町長 金子政則、御嵩町長 渡辺幸伸、  
関西電力株式会社東海支社長 小森浩幸、木曾川水系ダム統合管理事務所長 稲垣良和、  
新丸山ダム工事事務所長 加納啓司

### <主な協議内容>

#### 1. 魅力をつなぐプロジェクトに関する今年度の実施内容について

2市2町が連携して取り組みを加速させる具体的な地域振興策を検討することを目的に、今年度3回実施したワーキンググループの検討内容について、以下の通り検討内容を報告した。

##### (魅力をつなぐプロジェクトの検討報告)

- ・今年度は、昨年度決定した魅力をつなぐプロジェクトの方針等に対し、優先的に実施するプロジェクトの選定・試行を行い、アクションプランの検討を進めてきた。
- ・今年度の実施内容としては、①インバウンド観光を見据えた外国人アドバイザーによる現地調査、②食のイベント「全国発酵食品サミット in えな」での連携、③広域での周遊を促進する2市2町周遊ダムツアーのモデルコースの作成、④ダムを活用した防災教育プログラムの推進、⑤協議会ロゴマークの作成を主に進めてきた。
- ・今年度の取り組みに関しては、魅力をつなぐプロジェクトの6つのプロジェクトを策定したこと及び実施した取り組みについて周知を図り、協議会としての認知度を高めるように活動した。
- ・加えて、アクションプランについては、今年度の実施内容に加え、ワーキンググループ等が出た意見を踏まえ、来年度以降も取り組みを進めていく。

今年度のワーキンググループで実施した内容に関して、今後の取り組みに対して期待することや、意気込みなどについて、協議会会員の意見交換を行った。各会員の意見は、以下の通りである。

##### (瑞浪市 水野市長)

- ・協議会として様々な取り組みを進めて頂き感謝する。一方でワーキンググループを通して取り組みを進めているが、次の展開についても議論していくことが必要である。
- ・歴史文化に関しては、既に各市町で分析・研究し、磨き上げを行っているため、今後はダムを核として、それらの資源をどのように繋げ広げていくのが重要である。

##### (恵那市 小坂市長)

- ・発酵食品サミットに関しては、協議会で連携し、地域事業者同士でのコミュニケーションが図れた。
- ・今後は、新丸山ダムの一つの大きな事業を中心として、互いの市町の観光資源等のリソースが共有され、情報発信・経済の波及効果が各市町まで広がっていくことが理想と考えられる。
- ・次年度は、恵那峡が100周年となる。大井ダムや新丸山ダムでは水力発電として、脱炭素、SDGsの面で地域特有の良い要素になっているため、それらを普及していくことも重要である。

##### (八百津町 金子町長)

- ・昨年度に提案したロゴマークが実現し、今後の展開に向けてより効果的な活用を期待する。
- ・今年度の実施内容に関して、グルメプロジェクトは、各市町の特産品をPRできる良い機会となった。
- ・防災教育の推進については、町内の小中学生を対象に実施ができ、今後も地域の方とも協力して進めていきたい。

#### (御嵩町 渡辺町長)

- ・インバウンドの調査結果に関しては、願興寺等の工事中の様子に対して、賛否両論があり、様々な意見を伺うことができたため、今後の地域振興策の参考とさせて頂く。
- ・丸山ダムについても、今しか見られないという視点は、PRとして活用できるのではないかと。
- ・2市2町は、木曾川として繋がりや中山道の横の繋がりをもっているため、発想の転換をしながら新たな取り組みで周遊観光に繋がれるとよい。

#### (関西電力東海支社 小森支社長)

- ・今年度は、魅力をつなぐプロジェクトの着実な進展が見られた。
- ・インバウンド観光に関しては、ダムカレー、五平餅づくり、バンジー、版画等の各地域特有の体験をモデルコースに加えることも集客を図るうえで重要である。
- ・また、歴史的な地域資源と最新のデジタル技術を融合させた新旧一体のコンテンツに挑戦することも効果的と考えられる。
- ・カーボンニュートラルについて、新丸山ダム・丸山ダム・大井ダムの水力発電等から地域のクリーンな点もPRしていけると良い。

#### (木曾川ダム統合管理事務所 稲垣所長)

- ・地域の事業者もプロジェクトに関わりができていくことに嬉しい驚きがあった。
- ・地域の資源は既に磨き上げられているが、ダムはまだ十分でないことが現状であり、ダム管理者としてダムの希少性を改めて認識し、PRしていくことが重要である。
- ・丸山ダムとしては、新丸山ダムの完成に向けても、常に新たなPRを進めていけるとよい。
- ・ダム関連商品についても、興味深く感じた。

#### (新丸山ダム工事事務所 加納所長)

- ・協議会の目指す先は、ビジョン記載の「魅力を高める」「人を集める」「消費の活性化」の3つの軸としている。今年度は、それらを実行に移してきた段階であり、少しずつであるが2市2町での連携が見えてきた段階である。
- ・地域振興においては、各市町の取り組みを水源地域として、繋げていくことが重要と考えており、今年度は、水源地域協議会で地域の方とも協力を図りながら、取り組みを進めることができたことと認識している。
- ・今後の方針についても、継続してワーキンググループで議論し進めていくことが実のある地域振興になると考えている。

## 2. 令和6年度の予定について

来年度は、引き続きワーキンググループを実施し、アクションプランの具体化、更新を図っていく。また更新にあたっては、会員の皆さまから頂いた意見を踏まえ、アクションプランの実行に向けてワーキンググループで議論を行い、2市2町・ダム関係機関で連携して魅力をつなぐプロジェクトの輪を広げ、より地域の魅力を図っていく。また、ダムを活用した防災教育の推進に関しても、各市町及び地域の小中学校等と連携し、継続的に進めていく方針である。

上記の魅力をつなぐプロジェクトの来年度の予定を踏まえ、2市2町・ダム関係機関が来年度、重点的に実施する地域振興について、協議会会員の意見交換を行った。会員の意見は、以下の通りである。

#### (瑞浪市 水野市長)

- ・小里川ダムが20周年であり、小里川ダムと周辺市町と連携し取り組みを進めているところであり、新丸山ダム水源地域協議会においても参考となる知見があれば共有していきたい。
- ・体験型観光コンテンツの造成を行っている。地域で推進している取り組みや興味を引くキャッチフレーズ等も参考としながら、ダムを核として呼び込みを図っていただきたい。

#### (恵那市 小坂市長)

- ・来年度は周年の年となる。恵那市制 20 周年、大井ダムは 100 周年となり 12 月にイベントを企画している。加えて、大正村 40 周年と、様々なイベントを予定している。
- ・食のイベントに関しては、6 月：朴葉、9 月：五平餅、10 月：栗と毎月のようにイベントを企画しているため、それらのイベントでも連携できるとよい。

#### (八百津町 金子町長)

- ・ダム建設に伴う残土受け入れ地は、今後の活用に向けて、官民一体となるコンテンツの抽出や民間事業者へのサウンディングを検討しており、基本構想と骨子の作成検討業務を来年度行う予定である。
- ・また、作家の池井戸潤氏の協力のもと、今年の TV ドラマで放映された「ハヤブサ消防団」にちなんだ地域おこしプロジェクトを行っている。特に注力した「ハヤブサミュージアム」の開設に合わせて、今後も継続した情報発信に努める。
- ・そのほか、町内の中心市街地を活用したストリートフェスティバルや八百津産業文化祭を通して、町内外の交流を図ることができた。来年度も実施予定であり、国内旅行者インバウンド旅行者の視点も入れながら、協議会との連携が図れるとよい。

#### (御嵩町 渡辺町長)

- ・御嵩町の地域振興策、観光振興策としては、御嵩町をより好きになってもらえるようにファンクラブを立ち上げる予定である。情報発信としての役割に加え、地域の受け皿を磨きあげることも狙っている。
- ・特産品の振興としては、「みたけのええもん」があり、様々な媒体で情報発信の強化に努めていく。
- ・また、来年度は宿場町をどのように活かしていくのか、協議会を立ち上げ、方針を検討する。
- ・今後も継続して、水源としての活用に向けて、見て楽しんでもらい、お金を落としてもらえような取り組みを広域観光という視点で連携し、広げていけるとよい。

#### (関西電力東海支社 小森支社長)

- ・来年度には、大井ダムが 100 周年を迎えるため、恵那市とも協力しながら企画を考えている。また、その際には、新丸山ダム水源地域協議会とも連携できる内容を検討し、協力していけるとよい。
- ・来年の 4 月に大阪万博が開催される。未来に向けて行動を起こしている地域の紹介として「共創チャレンジ」というプログラムがある。共創チャレンジにて、「魅力をつなぐプロジェクト」の内容を PR し、国内外に広く発信することで、より地域の認知度及び魅力の向上に繋がると考えられる。

#### (木曾川ダム統合管理事務所 稲垣所長)

- ・プロジェクトには、今後も継続して協力を図っていききたい。それにあたり、丸山ダムの磨きあげを行い、今しか見られない姿を PR していきたい
- ・デジタル技術を活用し、新丸山ダムの完成に向けて、普段見ることのできない場所をバーチャルツアーとして発信することを検討している。
- ・水源地域未来会議を今年の 6/12, 13 に開催予定である。全国の水源地域の未来形成として先進的な取り組みの紹介、意見交換ができる貴重な機会であるため、参加頂ければ幸いである。

#### (新丸山ダム工事事務所 加納所長)

- ・協議会会員の皆様より貴重な意見を頂き感謝する。現時点では、プロジェクトの実行に向けて動き出した段階であり、新丸山ダムを中心にどのように繋げていくのかは、手探りでやっている状態である。
- ・ただし、一歩ずつ進んでいる状況であるため、今後も連携しながら、地域の交流を深め、地域経済の活性化に向けて、関係機関皆様のご協力の基プロジェクトの推進に努めていく。